

クラボウケミカル
ワークス株式会社
が紹介します!

面白がりクラブウ人

「仕事を面白がる」とは「既存の枠を壊して新しいことに挑戦し、自ら何かを変えていくこと」。この企画では「この人こそ面白がって仕事をしてる!」と思う人を紹介してもらいます。

関係会社編



面白がり
クラブウ人

どうき とまゆり
堂脇 催可さん

クラボウケミカル
ワークス株式会社
本社・黒瀬事業所
ウレタン製造課
(2016年入社)

「面白がり」6項目

- ① 既存の枠にとらわれず、いつも新しいアイデアを追求しよう。
- ② 広く好奇心を持ち、いろんなことに飛び込んで行こう。
- ③ 互いの個性を受け入れ、どんな意見をもぶつけ合おう。
- ④ 一度やると決めたことは、情熱を持ってやり遂げよう。
- ⑤ だれかを驚かせ、喜ばせ、ワクワクさせよう。
- ⑥ 未来の社会に役立つものを生み出していこう。

紹介者

ふじた ゆきえ

藤田 由紀恵さん

クラボウケミカルワークス株式会社
本社・黒瀬事業所 ウレタン製造課
(2015年入社)



「仕事は楽しく」をモットーに、 同僚のために工夫を凝らす器用人

堂脇さんの第一印象は「怖そうな人やな」(笑)。だって、高校以来変えていないというリーゼントヘアですよ(笑)。ところが一緒に仕事をしてみると、とにかく真面目。そして覚えが早い。私たちの仕事はウレタンを加工してさまざまな製品を作るので、品番が多く、図面を読み取る力が求められます。これまで機械加工などのキャリアを積んできた堂脇さんは、図面に強い。

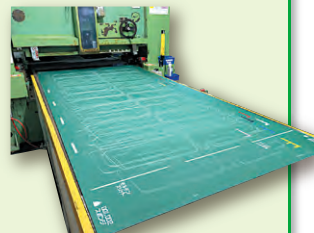
そして彼の仕事観は「早さと正確さが仕事を楽しくする。そのための工夫はもっと楽しい」というもの。手先も器用で簡単な治具などをすぐに作り、作業を楽に、早くする工夫をいつも心がけています。

その上、同僚想いで、困っている仲間を助けてくれます。堂脇さんは私と担当が違いますが、私がサンバイザー加工の際に発生する静電気に悩まされていた時、「カッティングマットの亚克力板を塩ビ板に変えてみよう」と提案さ

れ、すぐに自ら率先して作ってくれました。結果、見事に静電気は減り、ほこりがつきにくくなったことで作業スピードが向上したうえ、さらにカッティングマットの交換頻度も約1カ月伸びました。

堂脇さんの担当である介護用ベッドのスリット加工でも、作業が難しい背面部の加工用に、鏡面パネルを設置。スリット箇所精度が向上し、製品ロス削減にもつながりました。

とにかく、工夫と新しい仕事に取り組むことが好きで、楽しそうに仕事をしています。でも清潔感のあるスタイルがやめられず、リーゼントは変えないようです(笑)。仕事も趣味も一本筋が通った人、だからみんな頼りにしています。



堂脇さんがサンバイザー加工の効率化のために自ら制作したカッティングマット用の塩ビ板

面白がりポイント

みんなが仕事をしめ、かつ「早く、そして製品の質を上げる」ための工夫を楽しむ現場の改革者

クラボウケミカルワークス株式会社はこんな会社です!



当社は半導体市場向けの高機能樹脂加工事業の拡大を図るため、2020年に化成品事業セグメントの関係会社が合併して新たにスタートしました。従来からの軟質ウレタン加工事業や建材事業を含めて技術力、品質力の向上や人材の育成に取り組んでいます。今後もお客さまのニーズに応じて高品質なモノづくりを目指していきます。



<https://www.kurabo-cw.co.jp>